

はじめに

持田社会福祉協議会は、「心豊かに住みよいまちづくり」を目標に、第1次持田地区地域福祉活動計画（平成14～17年度）、第2次計画（平成18～21年度）、第3次計画（平成22～25年度）、第4次計画（平成26～30年度）を策定し、事業を実施してまいりました。

第5次計画（平成31年～新元号5年度）の策定に当たっては、平成30年6月に策定委員会を設置し、6回にわたり協議を重ねました。その間、第4次計画の評価、おおむね60歳以上の方のみの世帯の方を対象にしたアンケート調査を福祉推進委員、民生児童委員、なごやか会代表の方の協力を得て実施しました。

アンケートでは、高齢化にともない買い物や通院の支援が必要になってくる、自然災害時（積雪の時など）に支援して欲しい、日常的にも見守りをして欲しいなどの声が多くありました。いずれも切実な課題であり、第5次計画において、出来るところから取り組んでいくこととしました。

平成27年以降3年ぶりに持田の人口が4000人台に増加し、明るい話題になっています。又、大学生の皆さんが空き家を借りて生活をしながら、公民館活動や地域の皆さんと一緒になごやか会をもち立てたりしていることは大いに地域の活性化になっていると思います。

「心豊かに住みよいまちづくり」を目標に、よりいっそう努力していきたいと思っております。

終わりに、策定委員の皆様、アンケート調査にご協力いただいた皆様、策定委員会に欠かさず参加してアドバイスをいただいた松江市社会福祉協議会福祉課の職員さんに心から御礼申し上げます。

平成31年3月

持田地区社会福祉協議会

会 長 石 橋 光 枝

○第4次計画（平成26～30年度）を振り返る

第4次計画では、敬老会の参加者を増やすため、公民館での開催から地区開催としました。当初はお世話される方にとまどいがあったと思いますが、おかげで地区開催が定着しました。平成30年度の参加者総数は239名で、公民館開催最後となりました平成25年度の参加者数48に対し191人増えました。

平成26年には（社）もちだの郷と本協議会の間で「災害時の高齢者の支援に関する協定書」を結びました。

平成27年3月で民生児童委員を通してお渡ししていた香典を廃止、同年4月から新たに新生児誕生お祝い金を贈ることとしました。

主として高齢者の交通手段であるコミュニティバスについては、本協議会などの要望を受けて、平成27年5月には一部路線変更され、平成ニュータウンを通過することになりました。また、平成30年4月には運行時刻が変更され、小学生がバス通学できるようになりました。小学生のほか大学関係者も利用しています。

平成30年に12周年を迎えた「やすらぎ喫茶」は、近隣の福祉施設利用者の来訪者が増えました。（社）千鳥福祉会にはご協力を得て一般利用者の送迎をして頂いております。福祉施設との交流は着実に深まっています。



新生児誕生お祝い第1号
（平成27年6月4日）



小学生コミュニティバス初乗り
（平成30年4月12日）

○第5次計画（平成31～）実施に向けて

第5次計画では、引きつづき急激に進む高齢化への対応、地域資源である福祉施設との連携、高齢者の介護予防、災害時における要配慮者への対応などの課題に取り組みます。また、担い手づくりとして、過重な負担にならないよう配慮しながら、福祉推進員さんによる各町内会での活動の充実を図っていきます。

平成31年3月

松江市持田公民館

館長 野津 篤

持田地区の概要

持田は標高507mの澄水山^{しみずさん}を最高峰とする北山山系とこれに対峙する嵩山^{たけさん}に囲まれ、中央部の平坦地・丘陵地で古くから農業が栄えた地域で、今でも田園風景が広がっている。中心市街地に近いこと、平坦な土地が広がっていることなどから新興住宅と農家住宅が混在する地域として発展しつづけており、近隣には企業団地であるソフトビジネスパーク島根や島根大学が立地している。自動車専用道路（「だんだん道路」）に接続する国道431号が東西を貫き、主要地方道松江島根線、市道北山線などと合わせ道路網は整備が進んでいる。

また、平成31年には、県立自然公園に指定されている北山山系の尾根を縦断する北山林道が全線開通する見込みであり、観光に活用することで、より魅力ある地域づくりが期待される。

持田の人口は、昭和28年には2,437人であったが、昭和40年代から概ね10年刻みで大規模な住宅団地が造成されたことから、平成12年のピーク時には4,633人にまで増加した。その後減少傾向をたどり、平成28年には3,920人にまで減少した。平成28年に新たな自治会（グリーンテラス西持田）ができたことで、平成30年12月に4,002人にまで回復、しばらくは増加傾向にあると見込まれる。

持田地区の年齢別人口の5年間の推移をみると、0～9歳（+21人）、65～69歳（+48人）が増加、10～19歳（△51人）、40～59歳（△86人）、60～65歳（△50人）それぞれ減少している。地域別にみると、西持田（+76人）、川原（+6）の2地区のみ増加、東持田（△67人）、福原（△41人）の減少が顕著である。（別紙参照）

地域別・年齢別人口集計表（持田地区）

西持田

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H25	102	134	179	165	170	189	121	102	135	100	1397	24.1%
H30	147	121	201	177	175	145	95	123	171	118	1473	28.0%
増減	+45	-13	+22	+12	+5	-44	-26	+21	+36	+18	+76	

東持田

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H25	127	200	163	147	237	262	104	85	108	66	1499	17.3%
H30	99	162	142	132	176	284	111	109	134	83	1432	22.8%
増減	-28	-38	-21	-15	-61	+22	+7	+24	+26	+17	-67	

川原

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H25	11	10	16	12	21	27	19	6	28	15	165	29.7%
H30	17	13	8	22	19	17	15	17	20	13	161	31.1%
増減	+6	+3	-8	+10	-2	-10	-4	+11	-8	-2	-4	

坂本

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H25	32	26	38	52	45	49	27	20	36	31	356	24.4%
H30	37	23	34	49	45	44	25	27	31	35	350	26.6%
増減	+5	-3	-4	-3	±0	-5	-2	+7	-5	+4	-6	

福原

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~79	80~	計	65以上
H25	27	50	52	62	79	72	52	60	87	72	613	35.7%
H30	20	50	46	48	82	78	27	45	101	75	572	38.6%
増減	-7	±0	-6	-14	+3	+6	-25	-15	+14	+3	-41	

持田合計

	0~9	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69			70~79	80~	計	65以上
							60~64	65~69	小計				
H25	299	420	448	438	552	599	323	273	596	394	284	4030	23.6%
H30	320	369	431	428	497	568	273	321	594	457	324	3988	27.6%
増減	+21	-51	-17	-10	-55	-31	-50	+48	-2	+63	+40	-42	

出典：松江市作成「町丁別・年齢別人口集計表 H25.6.10、H30.12.10」

地域別・9歳以下年齢別人口集計表（持田地区）

西持田

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	4	9	8	15	9	10	10	9	16	12	102
H30	9	14	17	15	19	17	16	17	12	11	147
増減	+5	+5	+9	±0	+10	+7	+6	+8	-4	-1	+45

東持田

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	10	7	15	8	12	12	19	15	17	12	127
H30	8	3	11	12	11	8	13	13	10	10	99
増減	-2	-4	-4	+4	-1	-4	-6	-2	-7	-2	-28

川原

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	0	2	2	0	1	1	3	0	1	1	11
H30	3	2	1	2	3	1	2	1	1	1	17
増減	+3	±0	-1	+2	+2	±0	-1	+1	±0	±0	+6

坂本

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	6	2	5	3	3	3	6	1	1	2	32
H30	4	3	3	5	2	2	6	5	2	5	37
増減	-2	+1	-2	+2	-1	-1	±0	-4	-1	+3	+5

福原

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	2	3	1	2	1	2	4	6	1	5	27
H30	3	2	2	1	2	3	1	3	3	0	20
増減	+1	-1	+1	-1	+1	+1	-3	-3	+2	-5	-7

持田合計

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
H25	22	23	31	28	26	28	42	31	36	32	299
H30	27	24	34	35	37	31	38	39	28	27	320
増減	+5	+1	+3	+7	+11	+3	-4	+8	-8	-5	+21

出典：松江市作成「町丁別・年齢別人口集計表 H25.6.10/H30.12.10」

持田地区の自治会となごやか会

H 3 1 . 1

自治会名	加入世帯数	なごやか会名
旭の森1区	38	扇会
旭の森2区	30	
福原上	43	福原なごやか会
福原中	27	
福原下	40	
坂本上	14	坂本なごやか会
坂本中	32	
坂本下	48	
川原上	29	川原なごやか会
川原下	16	
納蔵東	15	納蔵なごやか寄り合い会
納蔵西	18	
石野	14	石野・以後後久地域なごやか会
以後後久	11	
太田上	24	太田なごやか会
太田下	49	
平成	292	平成なごやか会
小倉	8	小倉・日吉・亀尾なごやか会
日吉	19	
亀尾	24	
和田上	15	和田なごやか会
和田中	17	
和田下	18	
グリーンテラス西持田	40	—
祖母畑	42	耳高・祖母畑なごやか会
耳高	56	
竹崎アパート	96	—
竹崎団地	76	竹崎なごやか会
公務員住宅	7	—

持田地区社会福祉協議会の主な活動



敬老会助成事業



配食サービス年3回



やすらぎ喫茶



やすらぎ喫茶送迎



お出かけウォーキング (もちだ健康推進隊)



生活習慣病予防講演会 (もちだ健康推進隊)



独居高齢者へ暑中見舞い・年賀状



各地区なごやか会

平成30年度 敬老会実施内容

地区名	対象年齢 参加者数/対象者数	内 容
旭の森 1・2区	70歳以上 29名/55名	福原会館にて民謡踊り、銭太鼓を鑑賞後、昼食会とカラオケ。
福原 上・中・下	76歳以上 30名/75名	福原中集会所で敬老会を開催。記念撮影、米寿祝（記念品）演芸（安来節保存会）昼食会 カラオケ 手品。 赤飯を欠席者にも配布。
坂本 上・中・下	77歳以上及び 17名/48名	お抹茶（島大生・なごやか会） 演劇（ゆめ座） 剣舞、昼食会、紅白饅頭配布 記念撮影。
川原 上・下	77歳以上 8名/24名	川原上集会所にて敬老会と餅つき、芋煮会、ビンゴゲーム、カラオケ大会。敬老対象者へ紅白餅贈呈。自治会、環境保全隊、なごやか会、見守り隊の共催。
納蔵 東・西	77歳以上 6名/12名	納蔵集会所にてなごやか会で敬老会を開催。川津交番から振込詐欺についてのお話の後、食事会。
石野 以後後久	77歳以上 9名/16名	中通り集会所で敬老会を開催。余興（夢座による劇と歌）記念撮影、茶話会 紅白饅頭（欠席者にも配布）
太田 上・下	77歳以上 9名/30名	記念撮影 茶話会 紙芝居 ビンゴゲーム 昼食会
平成 ニュータウン	77歳以上 8名/18名	集会所にて子ども会による歌の披露と食事会、お祝い品の贈呈
小 倉	75歳以上 7名/7名	小倉集会所で昼食会
日 吉	77歳以上 8名/8名	手紙を添えて記念品配布 （お薬手帳、ケーキ、まつたけごはんの素、コーヒー紅茶セット）
亀 尾	77歳以上 7名/17名	納涼会に合わせ敬老会を実施。バーベキュー、そうめん、ちらしずし、かき氷 を作り敬老会の参加者をおもてなし。余興は子ども達の歌、太鼓、詩吟。対象者全員に赤飯を進呈。
和 田 上	77歳以上 11名/11名	お祝いの手紙を添えて赤飯とお茶のセットを贈呈。
和 田 中	75歳以上 5名/5名	お茶と赤飯のセットを贈呈。
和 田 下	77歳以上 8名/8名	お茶セットを贈呈。
祖 母 畑	77歳以上 17名/17名	対象者へ生菓みに挨拶状を添えて贈呈。
竹崎アパート	80歳以上 11名/11名	タオルセット贈呈。
竹崎団地	77歳以上 10名/24名	なごやか会と自治会の共催で開催。余興（傘踊り・暴れ太鼓・腹話術・ダンス）お茶会、くじ引き（プレゼント有）祝い品贈呈（赤飯・紅白饅頭）欠席者にも届けた。
耳 高	75歳以上 39名/39名	お祝い弁当をお祝いの言葉と共に届けた。

参加者 239名

生活支援に関するアンケート結果より（一部掲載）

第5次計画策定にあたり、実態把握・課題抽出の為、おおむね60歳以上の方のみの世帯の方を対象に生活支援に関するアンケート調査を行いました。

①自分で買い物ができなくなった場合、地域で支援するとすれば何を望まれますか

- 竹崎アパート**
- 1 コミュニティバス→竹崎の近くに
 - 2 移動販売(食料品・日用品)買物代行
 - 3 配達
 - 4 連れて行ってもらいたい。動けなくなったら買ってきてほしい
 - 5 誰かに頼む
 - 6 移動販売の車でもあれば利用したい
 - 7 田舎のようにトラックで売りに来てくれたら良いかな
 - 8 買物票の収集サービス
 - 9 近くでお店がありますので歩いて行きます
 - 10 移動の車(車いすの乗車ができる車)
 - 11 買物代行支援
 - 12 子どもたちへ
 - 13 配達(事前に注文)
- 竹崎団地**
- 1 今のところは自分でできるので心配ないが、買物等できなくなった時は近くにある包括支援センターへ相談したいと思っている
 - 2 知り合いの人に頼む
 - 3 ヘルパーさん等に付き添ってもらい自分の眼で見て買い物がしたい
- 和田**
- 1 通販あるいは宅配サービスが利用されると思われるが、地域で支援の側面から見ればリクエストによる買物代行だろう。自分で買い物ができなくなった場合では、例えば認知症等を伴う場合等、生活補助全般との連携も必要となってくる。プライバシーの問題もからんでくるので、いざその時となってバタバタする恐れがあるので、普段から前もってコミュニケーションをよくとっておくことだろう。(信頼関係を築いておく)
 - 2 生活協同組合的な組織の立ち上げ。地域の支援を受けることなく生活ができる社会環境の構築
 - 3 昔は、近く(家)まで魚などを売りに来てくれた。今は、娘や息子が帰った時に買いだめして冷凍保存している。
 - 4 週に2回位移動販売に来てもらいたい
 - 5 都合のつく限り自宅に届けて頂ければ幸いです。
 - 6 グループを作っておいて前もって頼んでその日に都合の良い人がお供をする。
 - 7 買物をしてきてもらうサポーターが必要となる
 - 8 店までの送迎バス。宅配サービス
- 耳高・祖母畑**
- 1 週2～3回位でもお店から出張販売して頂ければ助かります。食品及び日用品他。
 - 2 スーパーマーケットと契約して週3回位、主に食料品を地区で選定した場所まで配達しても
 - 3 今現在、不自由を感じてないので、先の不安はあるものの現実問題が浮かばない、わからないが正直なところです
 - 4 ①移動スーパー②電話で注文できて配達してくれる業者。できるよう交渉してほしい。
 - 5 買物ボランティアをお願いしたい
 - 6 移動販売車に頼るしかありません
 - 7 週に一度届けて頂く生協しまねを利用する(現在利用)。普段、買物をしているラパン川津店で、2000円以上買い物をすれば、その日の午後、買ったものを自宅まで届けてくださるそうなので、それを利用する。移動販売車に週3～4回位耳高会館に来てもらう。
 - 8 友達に頼む
 - 9 娘家族が近くにいるので頼む
 - 10 コミュニティバス運行希望
 - 11 定期的に販売車が巡回してほしい。コミュニティバスの運行
 - 12 協同購入

- 亀尾**
- 1 自動運転に期待
 - 2 移動販売車が来るといい。昔はよく来ていた。難しいとなれば近所の人に助けを借りると思う。買物代行(有料)
 - 3 代わりにほしい品物を買ってきてもらえたら助かります(できれば定期的に)
- 日吉**
- 1 食材、身の回り品
 - 2 乗り物
 - 3 生協をもっと利用すると思う。1時間くらいとか出して支援してもらおうと利用し易いと思う。
 - 4 定期的にタクシー、小型バスなど買い物用に回ってくれたら良いと思う。会費制で。
 - 5 いくらか手数料を支払って代わりに買い物をして来てほしいです
 - 6 近隣に住む人の買い物ボランティアを募ったらどうか
- 小倉**
- 1 自動販売車
 - 2 民生委員に頼む。買物をまとめてタクシーに頼む。専用タクシーをつくる。
- 太田**
- 1 食品の買い物の支援を仰ぎたい
 - 2 定期的な訪問販売
 - 3 現在ある宅配便を利用すると思う
 - 4 買物代行
 - 5 移動販売車に来て頂きたい。JAにお願いする
 - 6 近所の方をお願いする
 - 7 社協、福祉の方、またはタクシー一人で
 - 8 買物代行業を望む。移動販売
 - 9 自分でやる
 - 10 身内で解決する
- 平成
ニュータウン**
- 1 配達
 - 2 家族にしてもらう
 - 3 コミュニティバスの増便
 - 4 毎日か一日おきに買い物はないか声掛けをしてほしい。代わりに買って来て頂くと助かります。
 - 5 買物代行、配達サービス、移動販売などの支援
 - 6 コミュニティバスの発展
 - 7 地域タクシー
 - 8 注文・配達してくれるシステム(商店)があると良い
 - 9 車の移動販売。平成ニュータウン内に停車して物品(食料)を販売するところがあると良い
 - 10 注文・配達システムをする小売店があると良い
 - 11 近くのスーパーが電話注文を受け、配達してくれるといいと思う
 - 12 移動販売等、定期的に近場に来てほしい。又は地域の方に依頼できるシステムがあれば良いと思う
 - 13 移動ショップカー(品数しっかり)。タクシーの割引サービス
 - 14 農協が現在実施しておられるサンサン号(買物バス)のようなお店が週1回でも団地内に入ってもらえると助かります
 - 15 タクシーチケットなど
 - 16 平成地区独自のコミュニティバスなどあれば良いのですが
- 石野**
- 1 移動販売車の立ち寄り依頼(地区内に2~3か所)。コンビニに配達依頼(個人宅)
 - 2 近くに長男がおりますので何とかできると思います
- 以後後久**
- 1 買物をしてほしい
 - 2 代わりに買い物をしてくれる人を望みます
- 納蔵**
- 1 家族
 - 2 共同購入(公用車)
 - 3 週何回か車で来てくれるように
 - 4 配達や家族に
 - 5 家族に頼む
 - 6 家族に協力してもらう
 - 7 商店の協力を得、電話注文し配達して頂くよう地域の協力者の力を借りる(取りまとめ役)

- 川原**
- 1 乗合いの車を出してもらえば助かる
 - 2 毎日の生活のため食品、日用雑貨の買物をしてほしい
 - 3 販売車に来てもらいたい
 - 4 コミュニティバスの運行経路地区とする
 - 5 食べることは毎日のことなので車を運転できなくなったら民間の配食を頼むようになると思う。例えばタニダの配食(おかずのみ)。最近JAさんもされているようなので
 - 6 移動スーパー等考えてほしい
 - 7 希望する日(相手方も都合の良い日)に運転して頂ければ幸いです
 - 8 移動販売、コミュニティバス
 - 9 コミュニティバスを利用するか週に一度の配達してくれるような業者を探す
- 坂本**
- 1 各集落で支援施設を造る
 - 2 週2~3回コミュニティバスの運行(スーパーまでの)
 - 3 地域お助け隊(仮称)等の支援活動。移動雑貨販売車等による定期訪問販売
 - 4 スーパー、ホームセンターなどインターネットでの注文、配達システムの拡充支援
 - 5 依頼した食材を配達していただきたい
 - 6 公民館の前などで青空市場などをしていただければ。魚・野菜など
 - 7 親戚・近所の人をお願いする
 - 8 食料・衣料・日用品車が来てくれ、家まで買い物を運んでくれたら生きて行けます
 - 9 ヘルパーを利用すると思う
- 福原**
- 1 地域での共同購入
 - 2 移動マーケット
 - 3 移動販売車。町内で買い物に行ける曜日を決め、皆一緒に大型タクシーを利用し、送迎をしてもらう(何割か地域で負担してもらう)
 - 4 車で販売をして頂くと(1週間に2~3日)喜びます
- 旭の森**
- 1 移動販売車がこられるように
 - 2 親戚の人に買ってきてもらう
 - 3 ヘルパーさんをお願いしたい
 - 4 買物を聞いて頂いて代行してほしい
 - 5 知人に頼む
 - 6 買物代行をお願いしたいです
 - 7 町内で支援してもらいたい。町内で声をかけてほしい
 - 8 ヘルパーさんにしてもらう
 - 9 町内に声をかけてもらう
 - 10 兄弟に頼む
 - 11 近所の人に頼む
 - 12 ヘルパーさんに頼む
 - 13 家族の協力
 - 14 1週間~10日に一度買物をしてほしいです
 - 15 子どもや親戚に頼む
 - 16 買物を代わって行ってほしい。今は車に乗っているのも重たい物とか(灯油など米も)買って来れるけれど。

②生活支援や災害時の支援について

地域の人にできること、地域の人にやってもらいたいことはありますか

- 竹崎アパート** ボランティアさんに手伝ってもらおう 困ったときには助かります 災害時にはどこに集合するのか？何か知らせてもらおう(足とか体が弱っているので走ることはできない)。
- 2 災害があった時にどのような避難が必要か分からない。避難場所及び方法。簡単でも良いから書面があれば(目に付く所に貼り付けられれば)
 - 3 今はまだ60歳で働いているし、動けるのでよくわからない。90歳の母も見ているが動けるので特に今は分からない
 - 4 連れ出してもらいたい
 - 5 食事の支援
 - 6 よくわかりません
 - 7 車いすを利用している店に移動時に支援してもらいたい
 - 8 自治会・公民館の地域の方が一軒ずつ見守りしてほしい
 - 9 災害時の避難支援
 - 10 情報がほしい
 - 11 声をかけてほしい
 - 12 訪問(対話・コミュニケーション)
 - 13 災害時の時にはお助けお願い致します
- 竹崎団地**
- 1 まず声をかけて頂きたい
 - 2 困った時には地域の人にやってもらいたいです
 - 3 高齢になり病気になった時、ゴミ捨てできない時、低料金でお願いできる人があればいいなと思います。
 - 4 買物、病院の付添
 - 5 持田地域で体制を整えてください。ルール作りが必要なのでは
 - 6 マリンゲートから出るバスを増便してください。大畑病院前に信号機を設置
 - 7 コミュニティバス等団地の中に入ってもらいたい
- 和田**
- 1 災害時について、規模にもよるが大規模となると地域全体が被災することになるので、とても他人のことまで手が回らないだろう。したがって、地域内のごく限定的という意味で見れば、行政の手が及ばない部分の手伝いをお願いすることになる。災害前では、避難のサポート、災害後では衣食住はともかく、近年はライフラインの断絶による困窮が著しい。もし可能で、余裕があれば融通、援助してほしい。
 - 2 できること＝自治会組織の活用。やってもらいたいこと＝平常時の事案にはいまのところ問題なし(想定外災害等は例外)。地位k住民の高齢化で支援活動自体が充分にできないことの問題。
 - 3 ゴミ出し程度は運動も兼ねてやっているが、今後はどうなるかわからない。
 - 4 声かけをしてもらいたい。車の運転ができなくなったことを想定して、コミュニティバスの経路変更。災害時、一斉放送の声が小さくてまったく聞こえないので、改善してほしい(現在も聞こえない)
 - 5 体が動く限りは回りの人たちにも応援したい。
 - 6 個人情報保護という名目で地域の家庭の住民の人数とか年齢が把握できてないので、何かあっても出来ないのでは？と心配している
 - 7 近所と言えども昨今疎遠状態になっている現状において、いざ生活に困って災害時支援等できるだろうか？理想と現実は違う。きれいごとではすまされない。
 - 8 被災者の希望を聞き、できる限りの支援を行いたい。また、してもらおう希望します。
 - 9 近所の日頃の付き合いを大切に。災害時の避難場所まで高齢の母(90代)を連れて行くことは大変かなと危惧しています
 - 10 経験がなく分かりません
 - 11 二次災害を避けてできる限り声をかける
- 耳高・祖母畑**
- 1 その状況になってみないと今は分かりません。
 - 2 近所の一人暮らし人への声かけ。高齢者にも個人差がありますが、元気な高齢者が困っている高齢者を支える(例えばゴミ出し)
 - 3 一声かけて頂きたいと思います
 - 4 行商販売、生協等に頼りたい
 - 5 買物バス(タクシー)があれば喜びます。他地区では実施とのこと
 - 6 60代なのでなにかしてあげようと思うけど何をしてあげればいいのか分かりません。近所の人に配慮はしています。一人暮らしの人には特に気を付けて気にかけています。
 - 7 身内、官長などへの連絡、諸手続きをお願いしたい

- 8 自治会にお願いしたい
- 耳高・祖母畑 9 身体が動く限り自分でしようとは思っているが、もっと高齢になって何もできなくなった場合、申し訳ないという思いが先に立ち頼めるかどうか。地区の自治会が中心となつてまず対応してほしい。そして、自分の身体が動く限り支援に参加したいと思う。
- 10 自分でできなくなった時はその時考える
- 11 高齢者同志できることはやりたいが、それでも出来なくなる時は気軽に頼める公的な組織があると良い
- 亀尾 12 個人個人その時点で意見を聞き実施して頂きたい。
- 避難訓練を実施してほしい。できることからでいいが、できれば計画時に継続して実施
- 2 その時の自分の年齢、体の調子で違うと思いますが、今は二人ですが、もし、一人だったら不安になると思うので声をかけて頂きたいです。
- 日吉 1 災害時の時に見守ってもらいたい
- 2 安否確認、避難誘導
- 3 自分でできない事(木が倒れたとか、土砂くずれの場合)
- 4 月に1回でも何かすることがあるかたずねてもらおうと助かります
- 5 地区の連絡網があればいいと思います。特に両隣りは、普段からのコミュニケーションが大切だと思います
- 6 一人暮らしの方や高齢者への声掛け
- 7 雪の時、自治会で協力し道路の除雪をしたらどうか。各自治会に除雪機を備える補助金でもあればと思う。日頃から近隣のコミュニティを大切にしたいと思う
- 8 まだ、その時を迎えてきていないので、実感が湧いてきません。まずは、自分のことは自分で考えて、自分のことは自分で処理していきます。
- 小倉 1 コミュニティバスを増やしてほしい
- 太田 2 暮らしやすい地域の拡充、その内容をより充実したのになればハッピーですが
- 2 主要道路沿いの法面の草刈等
- 3 現在健康でそのようなことをまだ考えたことがない
- 4 原子力、地震、洪水などそれぞれ災害時の避難の仕方が異なりますので、地区ごとに対策を話し合っておくことが大事だと思います。また、ハザードマップで自宅周辺の地盤強弱を調べておく必要があると思います。いずれにしても近所への声を掛け合うことが一番大事だと思います
- 5 事前連絡
- 6 声掛け
- 7 災害は今までありませんけど、あれば地域の方に(異物等)
- 8 雪かき、草取り、粗大ゴミの処分。災害時の生きる為、身の安全の為の支援
- 9 自分でやる
- 10 困り事があった場合、地域の方に相談したり、定期的な声掛けをして欲しい
- 11 災害は地域の方も同じ被害を蒙ると思います。自助を旨とします
- 平成 自治会へ積雪(道路)の除去＝業者に依頼し重機等でお願いする
- ニュータウン 2 この地区は避難先となるであろう公民館や小学校が河川に近い低地にあるため、そのあたりを万一の時にどう考えているのか。もし、計画があるなら知りたいです
- 3 一人暮らしの方、高齢者の方の支援を充実する
- 4 声掛け
- 5 地震、土砂災害等の対策(点検、避難訓練、炊き出しの訓練、防災用備品の確保等)
- 6 買物、雪かき
- 7 人のサポートをするシステムを団地としても作っておいた方が良い
- 8 サポートできる人がサポートしてほしい人をサポートできるシステムとその常態化
- 9 地震とか原発事故などで避難指示が出た時には、近所の方に声掛けしてもらい、一緒に避難所まで行ってもらうチームを作っておいてもらいたい
- 10 定期的な訪問。より細やかなシステム作りと訓練が必要
- 11 声掛けをして頂けると助かります
- 12 除雪車が大通りだけでなくある程度の道路も可能だと助かる
- 石野 ボランティアにより家屋の片付け等
- 以後後久 よろずボランティア(わずかでも有料で買い物、ゴミ出し、通院、掃除など)やります、やってほしいを予め登録しておいて。
- 2 安否の確認。災害時は先ず、希望(やってこらいたいこと)を聞いてほしい。災害は多岐にわたるので、被災した場合でないと具体的には示すことができない
- 3 生活物資の補給

納蔵

- 1 雪かき
- 2 メーン道路までの雪かき
- 3 まず、緊急であることを伝えられ、どこへ避難するか誘導をしてもらいたい
- 4 これは非常にむずかしい間いだと思います。我々は足腰がきいている時は良いが、できなくなった時は、働き盛りの方々は皆出かけており、交通の便もさほど良いところではない。先の問題については定かなことはいえませんが
- 5 災害時に近くに安全な避難場所がない
- 6 買物、草刈り
- 7 現在、自分でできているので思いうかばない。しかし、災害も種々あり、程度によっても支援は異なり、その時の状況にて判断。しかし、再建してここに住もうとは思わず生活ができない状況となれば他へ移り住む

川原

- 1 高齢のため災害時に避難する時は支援してほしい
- 2 お願いしたい
- 3 日頃から緊急時の対応策等コミュニケーションを密にできるようにする
- 4 保全隊さんに休田の草刈りや家敷廻りの雑木を切ってもらったりしています。自分が動けなくなった時の災害時のことは、まだ想像できません
- 5 高齢化、一人暮らしの家庭への声掛け
- 6 大雪の日、地域の方にやってもらいたい(雪かき)。一人暮らしになった時、新聞、ポスト、牛乳などで見守ってもらえたらうれしい。買物ができるシステムがあればうれしい。
- 7 あいさつ

坂本

- 8 災害時に避難できる場所が遠すぎるので近くに支援してくれる場所を知りたい
- 1 衣食住の支援
- 2 災害時の支援では地震や大型台風により数日間断水した場合、水の確保
- 3 声掛けをしていただきたい
- 4 動ける高齢者等による共助地域活動の推進
- 5 声掛けをしてほしい
- 6 地域の人で困っている人があればできるだけ支援したいと考えています。何をしたら喜んでいただけるのか良く分かっていけませんので、頼まれればどんなことでも引き受けるように心がけています
- 7 困った時にはどんなことでも手伝ってほしいと思います
- 8 声掛けをしていただければ(その時)
- 9 普段から近所の方と災害時の話をしておく
- 10 今のところ考えていないが、自分で出来ないことをお願いする
- 11 家の木戸道が壊れ、足が悪いのでとても困っています。できれば隣の土地(荒地)主さんに許可して頂いて直したいです。災害時、皆さんと一緒に避難したいです

福原

- 1 災害時の訓練、炊き出しなどをやってほしい
- 2 自宅で生活できない状態になった場合、最小限度の必需品の運搬
- 3 災害時にはきめ細かい連絡網がほしい
- 4 日頃よくしてくださるのでお願いしたいことが思い浮かびません
- 5 お互い様という考えをみんなが持つことです
- 6 老夫婦の生活です。災害時の誘導よろしく願います

旭の森

- 1 協力をしてほしい
- 2 相談するようになっている
- 3 水とか？電気の用意
- 4 買物弱者への支援。病院への送迎支援
- 5 視力障害もあるので、今まで同様民生委員さんや隣保館に支援してほしい
- 6 地域の方の声掛けがほしい
- 7 避難所などへ誘導をお願いしたいです
- 8 町内で支援してもらいたい。町内で助け合い
- 9 声をかけてもらおうと良い
- 10 町内に頼んでやってもらおう
- 11 地域の人同士で声掛けをしてほしいです
- 12 正直言って、この家の前の山が崩れたら早く掘り出してほしい

③持田地区社会福祉協議会へ望むことはなんですか。

- 竹崎アパート** 地区の人が頻りに顔を出してあげると喜ばれるのかなと感じました。(一人暮らしの高齢の方とかの所へ)
- 2 バスの数がもっと多くあると良いですね
 - 3 公民館までが遠すぎるので行きたくても行かれない。送迎バスが午前午後の1回でもあれば孤独にならなくて良いと思う
 - 4 ゴミ出しを近所の人に頼んでいるが、その方が都合が悪くなった時に誰かかわって運んで欲しいです
 - 5 後期高齢者の人に公民館の方が声掛けをしてあげるといいと思う。一人一人把握して声掛けしてあげれば良いと思う
 - 6 地域コミュニケーションの場が必要と思う
- 竹崎団地**
- 和田**
- 1 いろいろ困りごとがある時、助けてほしい
- 耳高・祖母畑**
- 1 民生委員の方は、時々電話等見守りなどしてほしい。(一人暮らしなので)
 - 1 社会福祉協議会の方達のお仕事内容がよくわかりませんので勉強しておきます
 - 2 車で移動できなくなる大雪の場合、せめて市道ぐらいは何らかの方法で雪かきをお願いできたらと思う
 - 3 気軽に支援をお願いできる拠点がほしい。例え有料で良いから
 - 4 個人個人その時点で意見を聞き実施して頂きたい。
- 亀尾**
- 1 県、市などの自治体との連携を強化する。国、県、市、社協、高齢者クラブ連合会など、みんな同じことをやっている感じがします
- 小倉**
- 1 小倉地区にコミュニティバスを導入してほしい。一畑バスはダメ。運賃が高い。長い間待たなければならない。1時間に1本に。
- 太田**
- 1 災害放送が設置してありますが、残念ながらほとんど聞き取れません。各家庭に設置してください
 - 2 コミュニティバスの時間(スーパーの开店時間に合わせる)。1時間位で乗って帰れる
 - 3 高齢化に向け地域のコミュニケーションの強化。支援体制の確立
 - 4 高齢者の団地になっていくが、川津地区(商業施設)へのバス便があれば本当に助かると思う。雪かきしてくれるボランティア、助かる
 - 5 健康維持できるための企画
 - 6 どこのどなたがどのような困りごとを持っておられるのか理解するのは難しい。それゆえ、時々、このようなアンケートをして全体を把握し協議して頂いて対策を立ててほしい
- 石野**
- 1 3か月～半年に一度くらい家庭訪問をしてもらいたい。家財の片付け、始末
- 以後後久**
- 1 なごやか会と敬老会への助成金は続けてほしい。また、できれば増額してほしい。講師を呼んで介護について数回にわたり話を聞きたい
- 納蔵**
- 1 何事なくても平素から持ち出し物品を備えるように指導してほしい
 - 2 他県のことばかりではなく、地元の老若男女が一堂に語りあえたらと思う。今のところそうした雲行き見られない
 - 3 高齢化率の高い納蔵地区において集会的な事業の回数を増やす
- 川原**
- 1 現在、行われている活動の継続をして欲しい
 - 2 コミュニティバスを川原地区にも乗り入れてほしい
 - 3 二人が一人になった時、時々見守ってほしい
 - 4 定期的に高齢者の避難訓練をしてほしい
- 坂本**
- 1 災害にあわれた地域に行き勉強しましょう
 - 2 持田地域間での各地域間相互交流、情報交換等。現状活動のさらなる拡充活動
 - 3 地域の活性化の為にはできることはなんでもやりたいと考えています。
 - 4 高齢者のために町内に食材を積んだ車(ショッピングカー)？が入ると出かかなくて良いので助かると思います
 - 5 災害時の心得などのお話に公民館などに来ていただきたい
 - 6 話し相手になる人がほしい
- 福原**
- 1 支援のための移動販売。草刈、草取りなどのお助け隊ができればいいなと思います
 - 2 暑中見舞いハガキを毎年うれしく拝見し、有難く思っています。可愛い絵で心が和みますが、お礼の返信しないままです。すみません。いつも気にかけて頂き感謝しています
 - 3 冬の場合、雪が多い日は持田公民館にて除雪車を都合し、福原町の細かい道まですぐ雪をかくように努力してください。福原下地区の場合は、たまたま近所に建設会社があり、除雪車を無料でだしてくれるところがありますので助かっております。本当は市役所がやれば一番良いとは思いますが。そうもいかないね。
 - 4 車の免許返納しバス券を市からもらいましたが、買物をバスではとても不便です。タクシー券であればと思います。
- 旭の森**
- 1 持田地区全体で高齢者支援する団体があれば便利では？(お助け隊など)

ワークショップ記録

生活支援に関するアンケート調査の結果をもとに、策定委員会（小委員会）でラベルワークを行った結果、以下の6つの項目に集約された。

1. 買い物支援

- ・移動販売の車があればよい（多数）
- ・移動販売車（自分の目で見て買いたい）
- ・買い物、通院にバスでなくタクシーが良い
- ・買い物代行
- ・宅配業者利用
- ・乗合い
- ・生協で共同購入
- ・地域お助け隊等の支援活動を利用
- ・有料買い物ボランティア（多数）
- ・生協、ネットスーパー等配達してもらえる所の情報をみんなに提供する
- ・電話注文できて配達してくれる業者 → リスト化

2. 交通支援・コミバス

- ・コミュニティーバス増便（平成）（坂本）
- ・コミュニティーバスを運行してほしい（竹崎アパート・団地・耳高・祖母畑・川原）
- ・免許返納後バス券はあるがタクシー券がほしい
- ・運行範囲を拡大してほしい

3. 見守り・通常的な声掛け

- ・定期的な訪問 月に1回でも何かすることがあるか尋ねてもらえると助かる
- ・日頃からのコミュニケーション、声掛けが必要
- ・話し相手になる人がほしい
- ・持田地区内でお助け隊があれば良い
- ・福祉推進員に定期的に見守りがしてほしい
- ・通常的な声掛け
- ・特に一人暮らしの高齢者に顔を出してあげる
- ・地元の老若男女の語らいの場をもってほしい

4. 生活支援・災害時支援

- ・買い物弱者・病院への送迎支援
- ・元気な高齢者が困っている高齢者を支える（たとえばゴミ出し）
- ・一言声をかけてほしい（声を掛け合う）
- ・各集落で支援を望む
- ・ゴミ出しは近所で依頼
- ・気軽に支援をお願いできる拠点 有料で
- ・なごやか、敬老会講師を呼んで介護について数回にわたり話をききたい
- ・ゴミだし
- ・病院の付き添い

5. 災害時支援

- ・どこに集合するか避難方法・場所がわからない
- ・高齢者の避難訓練をしてほしい
- ・災害時、声掛けをしてほしい
- ・防災スピーカー聞こえない。災害放送を各家庭に設置してほしい
- ・避難支援・誘導
- ・災害時支援のシステムづくり
- ・地区ごとに災害時の対策を話し合っておく
- ・要配慮者支援

6. 雪かき

- ・今まではなんとかしてきたが、今後はわからない
- ・かいた雪のやり場に困った
- ・自分のところだけしても廻りがしてないと通れない
- ・大雪の時に除雪車をだしてほしい（建設会社）
- ・大雪の時、協力委員さんたち近所の人が率先して雪かきに来てくれた。（福原）

参加者：石橋光枝、石橋公夫、仙田節子
池本光政、野津順子、野津浩志
井上節男、板持早苗（包括）
今村佳則（市社協） 小数賀佳奈恵（事務局）

第5次持田地区地域福祉活動計画表

福祉目標	心豊かに住みよいまちづくり							
目的	課題	具体的内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	実施・協力団体
支え合い	生活支援	買い物支援の情報提供	検討・実施	実施	—		▶	地区社協
		有料買い物ボランティアなどの仕組みづくり	検討	実施	—		▶	地区社協 鶴友会（ボランティア団体）
		交通手段の確保・コミバスの存続のための利用促進（増便・運行範囲の拡大）の取組み	継続実施	—			▶	地区社協 コミュニティーバス利用促進協議会
	福祉担い手づくり	高齢者同士がお互い助け合い、誘い合う関係づくり グループの中に声掛けができるリーダーをつくる	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 鶴友会 自治会 なごやか会
		誰もが役割を持ち相互に支え合い、自分らしく活躍できる地域コミュニティをつくる	継続実施	—			▶	地区社協 鶴友会 自治会 なごやか会
		福祉推進員会活動の充実・役割を理解し、続けたい魅力ある会へ	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 福祉推進員会
	高齢者の日常的な見守り	配食サービス 年3回	継続実施	—			▶	地区社協 福祉推進員会 民生児童委員会
		福祉推進員による定期的な訪問（月1回） 日頃からのコミュニケーション	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 福祉推進員会 なごやか会
	支援が必要な人への災害時支援	自主防災隊、要配慮者支援制度の充実 未実施の地区への立ち上げ促進	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 自治会 民生児童委員会 鶴友会
		積雪時に自主防災隊、要配慮者支援制度の機能を生かす	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 自治会 自主防災隊 地域住民
子育て支援	児童の見守り居場所づくり	子ども達が安心して登下校できるように定期的な見守り活動	継続実施	—			▶	地域安全推進員 青パト隊 川津交番 地域住民
		挨拶運動 夏休み夜間パトロール	継続実施	—			▶	公民館 少年を守る持田地区の会
		放課後・長期休暇中の居場所づくり 子ども広場・寺子屋事業	継続実施	—			▶	公民館 少年を守る持田地区の会 ボランティア
	孤独にならない子育て	親子の交流の場づくり にこにこ教室・わいわいルーム	継続実施	—			▶	公民館 母子保健推進員会
		誕生祝い金	継続実施	—			▶	地区社協
		子育て中の人への子育て支援情報提供	継続実施	—			▶	母子保健推進員会 松江市子育て支援センター
交流	地域とのつながり	なごやか寄り合い事業への支援（情報交換会の開催等）	継続実施	—			▶	地区社協 市社協
		やすらぎ喫茶の開催 魅力ある居場所の工夫	継続実施	—			▶	地区社協 やすらぎ喫茶ボランティアの会
		やすらぎ喫茶に参加しやすい工夫（送迎等）	検討・実施	実施	—		▶	地区社協 やすらぎ喫茶ボランティア 千鳥福祉会
		敬老会を開催しやすいよう助成金で支援する	継続実施	—			▶	地区社協
	住民の健康づくり	もちだ健康推進隊による健康づくり事業が活発に行われるよう支援する	継続実施	—			▶	地区社協 もちだ健康推進隊 松江市健康推進課 食生活改善推進員会
		健康診断の受診率向上に取り組む	継続実施	—			▶	地区社協 もちだ健康推進隊 松江市健康推進課

目的	課題	具体的内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	実施・協力団体	
連携	民生児童委員 福祉推進員の連携	合同研修会の開催など情報交換の出来る場の提供	継続実施	→			→	地区社協 民生児童委員 福祉推進員	
	外部関係機関や 地区内団体との 連携強化	松江市・市社協・包括支援センター・川津交番などの外部団体や地区内の鶴友会、自治会連合会、交通安全協会等の諸団体との連携をとり、より有効な取り組みをする(共催事業など)	継続実施	→			→	地区社協 地区内団体 外部団体	
	地域の福祉施設との連携	千鳥福祉会・・・やすらぎ喫茶送迎支援 サマーフェスタ	継続実施	→				→	地区社協 千鳥福祉会
		もちだの郷・・・災害時支援協定 出前講座	継続実施	→				→	地区社協 もちだの郷
		その他地域内にある福祉施設を知り、連携、交流を深める	継続実施	→				→	地区社協 自治会 民生児童委員 福祉推進員 地区内の福祉施設
	福祉推進員の選任	福祉推進員の選任方法の検討	検討実施	実施	→			→	地区社協 自治会 福祉推進員
広報	適切な広報	活動内容を住民に分かり易く広報する 持田社会福祉だより(年1回) もちだ社協通信(年2回)	継続実施	→			→	地区社協	

第5次地域福祉活動計画策定までの経過

平成30年6月6日	準備会（第1回 第2層協議体会議） ・福祉計画とは ・協議体について説明 ・第4次計画振り返り ・策定委員の選出 ・今後のスケジュール
平成30年6月27日	第1回策定委員会（第2回 第2層協議体会議） ・福祉計画とは ・協議体について説明 ・第4次計画振り返りと評価 ・策定方法について
平成30年7月9日	第2回策定委員会（小委員会）（第3回 第2層協議体会議） ・第4次計画の評価 ・地域課題の抽出方法について
平成30年9月5日	第3回策定委員会（小委員会）（第4回 第2層協議体会議） ・地域課題の抽出方法（アンケート）について
平成30年9月6日 ～ 10月10日	生活支援に関するアンケート調査 おおむね60歳以上の方のみの世帯 回答212世帯
平成30年11月7日	第4回策定委員会（小委員会）（第5回 第2層協議体会議） ・アンケート結果から課題整理 ワークショップ
平成30年12月21日	第5回策定委員会（小委員会）（第6回 第2層協議体会議） ・持田地区の現状について ・前回のワークショップの振り返り ・福祉計画表（案）づくり
平成31年1月28日	第6回策定委員会（第7回 第2層協議体会議） ・経過説明 ・福祉計画（案）について
平成31年3月4日	地区社協理事会 ・福祉計画（案）について 承認